



流行性角結膜炎(はやり目)が急増!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 4	3	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 5	2	ヘルパンギーナ	↗ 150	123
咽頭結膜熱	↘ 8	10	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 26	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 64	34	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 287	275	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 50	53
水痘	↗ 15	9	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 327	276	無菌性髄膜炎	↗ 3	2
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 25	28	マイコプラズマ肺炎	→ 7	7
突発性発しん	↗ 43	38	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 菊池、熊本、水俣、天草、有明、宇城、八代、山鹿
 伝染性紅斑 : 菊池、人吉
 ヘルパンギーナ : 菊池、宇城、天草
 流行性耳下腺炎 : 人吉
 流行性角結膜炎 : 有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	3	1	4	26	81	2	134	5	16		45	3		37		2	6		
山鹿保健所					22	1	4				2	1	*	*					
菊池保健所			1	20	62	1	66	9	10		32	2		5					
阿蘇保健所					2		2				1		*	*					
御船保健所					17		9					1	*	*					
八代保健所			1		24		15	2	3		5								
水俣保健所		2				2	16		1		6		*	*					
人吉保健所					8	4	8	5	4		4	11	*	*					
有明保健所			1	7	40	3	27	1	4		13	7		8			1		
宇城保健所		2	1	3	27	1	18	3	1		22	1	*	*					
天草保健所	1			8	4	1	28		4		20					1			
計	4	5	8	64	287	15	327	25	43	0	150	26	0	50	0	3	7	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	5	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	8	0	0	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	0	0	4	5	4	13	11	3	5	8	2	9	0	0						
感染性胃腸炎	287	4	29	65	35	16	24	21	15	11	7	12	33	1	14						
水痘	15	0	2	2	4	4	1	0	0	0	2	0	0	0	0						
手足口病	327	5	45	120	80	29	21	12	4	2	3	2	2	1	1						
伝染性紅斑	25	0	3	1	3	6	3	3	2	2	0	0	2	0	0						
突発性発しん	43	1	24	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	150	2	18	48	38	18	8	2	8	3	2	1	2	0	0						
流行性耳下腺炎	26	0	0	0	5	4	6	2	4	2	0	0	2	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	50	0	0	3	0	2	0	3	0	2	1	1	5	3	4	9	7	2	5	3	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	7	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

今週の報告数は50件で、7/6~7/12の週以降急増しています。保健所別では、有明が警報レベルを超えている他、前週の一定点当たりの患者報告数は全国より7倍多い報告数でした。

流行性角結膜炎(はやり目)が急増しています

流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、年齢では1~5歳を中心とする小児に多いが、成人も含み、幅広い年齢層にみられます。白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、などの症状が出ます。

両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には手洗いが有効です。

感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がります。赤ちゃんや小さなお子さんなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

